

毎日小学生新聞

きょうの紙面

- 「みんなでつくる あるある!?ないない！」
- 4月からの新連載・投稿募集中……………②
- 経済のほんとと「将来どうなる？」……………④
- 仕事発見！「カバン職人」……………⑤
- マイルール「お口がクサイ」……………⑦
- ゆるキャラらんど「たみまる」……………⑧

毎日小学生新聞編集部
おたより 〒100-8051(住所不要)
ファクス 03・3212・2591
メール maishou@mainichi.co.jp
電話 03・3212・3274(編集)
0120・468・012(購読について)
発行所 毎日新聞社◎
東京本社 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
定価 1か月1580円（本体1505円、消費税75円）・1部60円

新毎日

「わあ、速いよー」。2月のある日、新潟県のスキー場で、2本のスキー板の上に椅子を置いた「バイ

障害者スキー

パラリンピックでは、一流の障害者アスリートたちが華々しく活躍します。一方で、アスリートでなくてもこれからの冬季スポーツを楽しめることは、あまり知られていません。障害者スキーを体験しました。【中嶋真希】



雪の波に乗って



ロープで支えてもらえば、安心してスピードが出せます

スキーに乗り、東京都内のインターナショナルスクールに通う男の子（12）が笑いました。男の子は、背

宮城・気仙沼女子高校が閉校式

復興願い卒業生巣立つ



宮城県気仙沼市中心部にある私立気仙沼女子高校で3日、卒業式と閉校式がありました。2011年3月の東日本大震災で生徒数が減り、45年の歴史を閉じます。震災翌月に入学した3年生18人は、最後の卒業生として復興途上の街から巣立ちました。写真。同校は気仙沼湾の一番奥まった所から約150m。震災の津波で高台にある校舎に被害はありませんでしたが、周辺の建物が流されました。生徒たちはがれきだらけの道を越えて通いました。卒業式では、生徒会長の菅原綾香さん（18）が「これからの気仙沼の復興を心から願い、卒業生代表の言葉といたします」とあいさつしました。



手助けがあれば、バイスキーに座ったままリフトにも乗れます

「雪の波に乗ってるって感じ」と男の子。「バイスキーの」サイドがこぶにぶつかって雪を砕くと、顔面に雪しぶきが当たるのがおもしろい。速くて視線が低いのもいい。義足の人だとか、病気の人がおすすしたいです」と話します。スキーは、障害があっても楽しめます。両足がなかったり、立ち上がることができない人には、2本の板に椅子をのせた安定感のあるバイスキーがあります。障害が比較的軽い人や、大会に出る人は、板が1本のチェアスキーです。ほかに、脳性まひなどで器用に足を動かせない人は、スキー板の先端を固定して、簡単にボーゲン（板を8の字にしてスピードをおさえてくれる）ができる「スキーブラ」という器具を使います。 2面につづく

誰でも楽しめる

毎日のホームページ ▶▶▶

「毎日小学生新聞」 <http://mainichi.jp/feature/maisho/>

参加費無料

第4回

ペコちゃんキッズアカデミー

参加者大募集!

2014年の春休み。栃木県にある「いちごの里」(栃木県小山市)にて「第4回ペコちゃんキッズアカデミー」を開催します。「いちご狩り&食べ放題」や、摘みたてのいちごを使った「いちごのショートケーキ作り」「バター作り体験」など、親子で学んで楽しめる企画をご用意しました。(実施内容は予定です) 皆さまのご応募をお待ちしております。

開催日時: 2014年4月3日(木) 10:30 現地集合~16:00 終了予定

場所 「いちごの里」栃木県小山市大字川島408

※アクセス: [電車の場合]・JR小山駅西口よりタクシーで約15分 [お車の場合]※無料駐車場有・栃木ICより約20分・佐野SASマートICより約20分・佐野藤岡ICより約20分

募集人数・対象 小学生以下のお子様と、保護者(20歳以上)の方1名様を1組とする合計10組様
※小学生以下のお子様であれば、ご兄弟2名様以上でのご参加も可能です。

参加費 無料 ※現地までの往復交通費は自己負担となります。

応募方法 不二家「ペコちゃんの森」ウェブサイトにて応募要項をご確認の上、はがきでご応募ください。
URL <http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>

応募締切 2014年3月15日(土)到着分迄 ※ご応募多数の場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。

詳しくは

不二家「ペコちゃんの森」のウェブサイトをご覧ください

<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>